

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援等）

● 公正な取引の推進

私たちは、協力会社・業務委託先との契約において、適正な価格と条件を提示し、立場にかかわらず対等な関係を築きます。また、下請法など関係法令を遵守し、公正で透明性の高い取引を徹底します。

● 多様な働き方への理解と推進

当社は、リモートワークや、自由な時間に働ける時間報酬型を活用し、多様な働き方を尊重しています。取引先に対しても、働く人の環境や事情に配慮し、持続可能な協力関係を築くよう努めています。

b. IT実装支援（共通EDIの構築、データの相互利用、IT人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援等）

● 共存共栄の実現

中小企業や地域の事業者の皆さまが抱えるIT課題に寄り添い、分かりやすい説明と手厚いサポートを提供することで、デジタル化の裾野を広げ、地域経済の活性化に貢献します。

● 支援型DXの推進

ITが苦手な方にも安心してご利用いただけるよう、電話やリモートでのサポート、個別相談に応じる体制を整えております。お客様ごとに最適な提案を行い、長期的な信頼関係を築くことを重視しています。

● 継続的な対話と改善

お取引先の皆さまとの定期的な対話を通じて、課題や要望を真摯に受け止め、業務改善・品質向上に活かしてまいります。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

③手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

④知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

⑤働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

当社は、IT初心者の方々を含む中小企業・地域事業者に向けたIT支援を通じて、地域経済のデジタル化と生産性向上に貢献しています。業務委託先や外部パートナーとも対等で公正な関係を築き、多様な働き方や成長機会を尊重しながら、共に発展するパートナーシップを目指します。

2025年6月9日

株式会社イービット

企業名

代表取締役・大田匡毅

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。